

渋江川流域の大型土壌動物の若干

布村 昇¹⁾・平内好子²⁾

¹⁾富山市科学博物館・²⁾魚津市大海寺新

Some macro soil animals from Shibuegawa River, Toyama Prefecture, central Japan

Noboru Nunomura : Toyama Science Museum
Yoshiko Hirauchi : Daikaiji-shin,Uozu-shi

渋江川調査の一環として河川内と土手に生息する陸産甲殻類の目録採りとリターがある場合、シフティングにより調査を行った。

また、渋江川流域の小白山で土壌動物を調査し、目録採り及びツルグレン装置により抽出した等脚目甲殻類、倍脚類、貝類調査結果を報告する。

調査日程と調査場所

(すべて平成22年)

- 3月8日 渋江川人母橋一竹屋橋間 (布村)
- 6月19日 小白山 (平内)、渋江川上御亭橋一瑞穂橋間 (布村)
- 8月31日 渋江川矢長橋一島分橋間 (布村)

調査結果

渋江川の土手からは陸産甲殻類は等脚目種2種の生息が確認されたのみであった。河川内と土手の部分は狭く、かつ上流部を除いて森林と接続しておらず、ニホンヒメフナムシも少なく、セグロコシビロダンゴムシはまったく確認されなかった。全体に比較的乾燥した環境を好み人為の影響をうかがわせるオカダンゴムシが多かった。

小白山 (標高120.9m) には、ブナーウラジロガシ林のほか、一部にはモウソウチクのタケ林も分布し、湿潤な多様な環境があり、3種が確認された。軟体動物やヤスデも良好な状況での低山を指標する種と考えられる。

節足動物 Arthropoda
甲殻亜門 Crustacea
等脚目 Isopoda

ニホンヒメフナムシ *Ligidium (Nipponoligidium) japonicum* Verhoeff

〔渋江川〕 1頭、平田橋、6月19日

〔小白山〕 1♂2♀ウラジロガシ域；1♂3♀タケ林

ナガワラジムシ *Haploptalmus danicus* Buddee-Lund

〔小白山〕 1♂5♀タケ林

セグロコシビロダンゴムシ *Spherillo dorsalis* (Iwamoto)

〔小白山〕 1♂4♀ブナ域、1♂6♀タケ林

オカダンゴムシ *Armadillidium vulgare* (Latreille)

〔渋江川〕 1頭、白谷大橋、3月8日、布村昇；

1頭、平田橋、6月19日；1頭、羽根橋、8月31日

多足亜門 Myriapoda

ヤスデ綱 Diplopoda

オビヤスデ目 Polydesmida

オビババヤスデ *Parafontaria laminata* (Attens)

〔小白山〕 3♂、3♀ブナーウラジロガシ林、タケ林

タマヤスデ目 Glomerida

ヤマトタマヤスデ *Hyleoglomeris japonica* Verhoeff

〔小白山〕 1個体 ブナ域

軟体動物 Mollusca

腹足綱 Gastropoda

原始紐舌目 Architaeniglossa

ミジンヤマタニシ *Nakadaella micron* (Pilsbry)

〔小白山〕 8個体 タケ林

ヒタリマキゴマガイ *Palaina pusilla pusilla* Martens

〔小白山〕 1個体 タケ林

文献

布村昇, 2008. 魚津市角川流域の若干の無脊椎動物. 富山の生物47: 63-64.

布村昇, 2009. 氷見市余川流域の陸産フクロエビ甲殻類. 富山の生物48: 29-30.

布村昇, 2010. 栃津川流域の陸産甲殻類. 富山の生物49: 23-24.

渋江川の底生無脊椎動物 (昆虫を除く)

布村 昇

富山市科学博物館 〒939-8084 富山県富山市西中野町1-8-31

Macro-invertebrate animals from Shibuegawa River, Toyama Prefecture, central Japan

Noboru Nunomura

Toyama Science Museum, 1-8-31, Nishinakano-machi, Toyama-shi, Toyama 939-9084, Japan

On macro-invertebrate animals from Shibue-gawa, Tateyama machi, Toyama was surveyed. As the results, seventeen species were enumerated. The dominant sepsis were *Semisulcospira bensoni* and *Erpobdella lineata*. *Esopgammurus hokuikuensis japonica* and *Gnorimosphaeroma hokurikuensis* were also distributed.

渋江川は富山県の西部を南から北に流れ、山地から農村部をぬけ、小矢部川に合流し、最終的には高岡市で富山湾に注ぐ。調査は各調査地点15分から20分程度、主としてタモ網を用いて、転石下や水草、ゴミなども調査した。

但し、人母橋より上流は川まで降りることが出来ず、調査を行うことが出来なかった。

調査日程

(全て平成22年)

- 3月8日 (布村) 人母橋一竹屋橋間
- 6月19日 (布村) 上御亭橋一瑞穂橋間
- 8月31日 (布村) 主に矢長橋一島分橋 (小矢部川合流点) 間

調査結果

10種の水生無脊椎動物を確認した。これを昨年の立山町栃津川、一昨年の氷見市の余川川、19年の魚津市角川と比べると、各河川に共通で、カワニナが多かったが、これは富山県内の中小河川に共通である (布村, 1998, 2002, 2009ほか)

特筆すべき種はことは甲殻類でミズムシが少なく、ホクリクヨコエビやホクリクコツブムシが多く確認されたことであろう。

さらに微小なコロニーながらアナンデルカイメ

ンが確認された。本種は川崎医科大学の益田芳樹氏同定による。

これを昨年の立山町の栃津川、一昨年の氷見市の余川川、三年前の魚津市の角川と比べるとヒル、甲殻類、貝類ともに最も多い。

	渋江川	栃津川	角川	余川川
海綿動物	1	0	0	0
刺胞動物	0	0	0	1
扁形動物	0	0	1	1
貧毛類	1	1	1	0
ヒル類	5	2	3	3
マキガイ	5	4	2	3
二枚貝	1	0	1	0
甲殻類	4	3	2	8
合計種数	17	10	10	16
純淡水種	16	9	9	16